

令和 7 年度

海上保安庁関係補正予算配分概要

目 次

I. 令和 7 年度海上保安庁関係補正予算配分方針	1
II. 令和 7 年度補正予算配分総括表	1
III. 事業別概要	2
IV. 管区海上保安本部等別配分額	3
V. 配分箇所具体事例	4

令和 7 年 1 2 月

I. 令和7年度海上保安庁関係補正予算配分方針

令和7年度船舶交通安全基盤整備事業補正予算については、「強い経済」を実現する総合経済対策」（令和7年11月21日閣議決定）に基づき、海上保安能力の強化等及び防災・減災・国土強靱化の推進事業に配分する。

II. 令和7年度補正予算配分総括表

[総事業費]

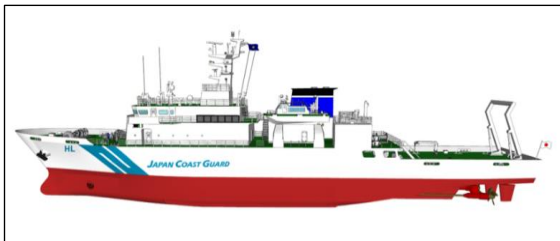
(単位：百万円)

区 分	危機管理投資・成長投資による強い経済の実現						防衛力と外交力の強化			合 計		
	うち実施中期計画第4章											
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
船舶交通安全基盤整備事業	1,630		1,630	1,630		1,630	6,529		6,529	8,159		8,159
直轄	1,630		1,630	1,630		1,630	6,529		6,529	8,159		8,159

○海上保安能力の強化等

【巡視船等の代替整備】

老朽化した巡視船等を代替整備する。



○防災・減災・国土強靱化の推進

【航路標識の耐災害性強化対策】

航路標識の耐災害性強化を図り、船舶交通の安全を確保するための対策を講じる。

<電源喪失対策>



老朽化発電機の換装

<監視体制強化対策>



クラウド監視装置の導入

<信頼性向上対策>



耐波浪型LED灯器等の整備

<レーダーの耐風速対策>



耐風速型レーダーの整備

【航路標識の老朽化等対策】

航路標識の倒壊、損壊等の被害に対応するため、長寿命化のための整備を着実に実施し、航路標識の老朽化等対策を講じる。



▲点検・診断
劣化を早期発見



外壁補修



防水工事

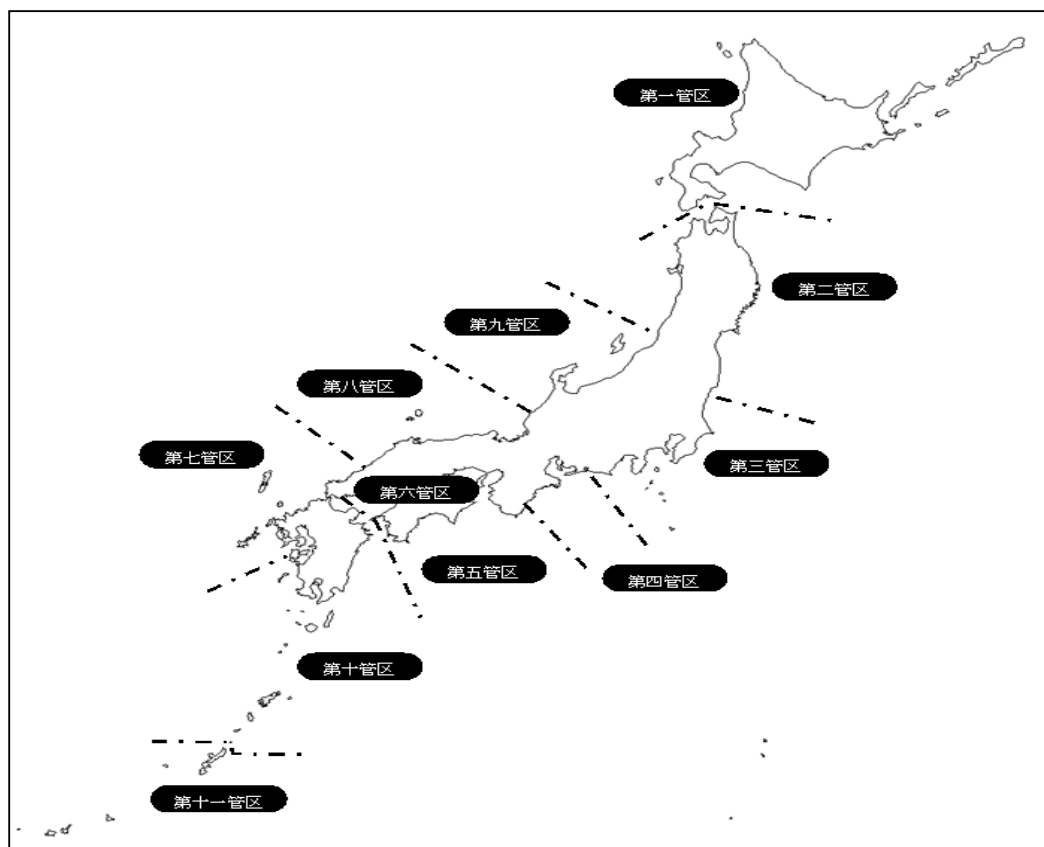
IV. 管区海上保安本部等別配分額

[直轄事業]

(単位：百万円)

区分	事業箇所数	船舶交通安全基盤整備事業			うち実施中期計画第4章		
		本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
海上保安庁	0	6,529		6,529	0		0
第一管区海上保安本部	15	223		223	223		223
第二管区海上保安本部	15	184		184	184		184
第三管区海上保安本部	16	93		93	93		93
第四管区海上保安本部	21	180		180	180		180
第五管区海上保安本部	15	304		304	304		304
第六管区海上保安本部	32	122		122	122		122
第七管区海上保安本部	14	140		140	140		140
第八管区海上保安本部	20	80		80	80		80
第九管区海上保安本部	8	52		52	52		52
第十管区海上保安本部	4	72		72	72		72
第十一管区海上保安本部	10	180		180	180		180
合 計	170	8,159		8,159	1,630		1,630

※維持管理費については、事業箇所数として計上していない。
 ※端数処理の関係で、合計額は必ずしも一致しない。



V. 配分箇所の実事例

危機管理投資・成長投資による強い経済の実現

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
青森県 (北津軽郡中泊町)	小泊岬船舶交通安全基盤整備事業	126百万円	激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、老朽化が著しい航路標識の老朽化等対策を着実に推進することにより、船舶交通の安全確保を図る。
和歌山県 (東牟婁郡串本町)	桎野崎船舶交通安全基盤整備事業	52百万円	災害時においても安定運用が可能な災害に強い機器等へ換装することにより、航路標識の耐災害性強化対策（信頼性向上）を推進する。